

平成 26 年度事務事業評価調書

事業コード	03040203	区 分	<input type="checkbox"/> 実行	<input checked="" type="checkbox"/> 経常
事務事業名	他体育施設管理運営事業(運動場・テニスコート・野外活動センター)	担当部署名	教育課	
		作成責任者職氏名	課長 中野光二	内線 650
第4次総合計画体系	(基本柱)	(基本施策)	(細施策)	
	03教育・歴史・伝統	04生涯学習の充実	02生涯学習の環境整備	
実施期間	<input type="checkbox"/> 単年 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 (昭和61年度～ 年度)		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助等
根拠法令等	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令等の名称	千早赤阪村社会体育施設設置条例・規則	義務付け <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

I 事務事業の概要<Plan>

<p>(1)事務事業の目的及び内容</p> <p>①目的 施設の充実をはかり、村民の健康と体力の増進を図るとともに、文化的な住民生活の向上とスポーツ振興また、青少年の健全育成に寄与する。</p> <p>②内容 村民運動場・テニスコート・野外活動センターの管理及び運営</p>	<p>(2)対象(誰を対象とするのか) 施設を使用しようとする者</p>
<p>(3)期待される効果(本事業によって対象者をどのような状態にしたいのか) 住民の健康維持増進・青少年の健全育成を図ることができる。</p>	<p>(4)事務事業を進める上での課題や問題 照明設備等の老朽化、使用効率を高める。</p>

II 事務事業の実施<Do>

(1)事務事業の事業費及びコスト費								
	24 年度 実績	25 年度		26 年度 事業費(見込)	27 年度 事業費(見込)			
		事業費(予算)	実績(見込)					
事業費(見込含む)(千円)(A)	1,511	1,293	1,282	1,332	1,332			
財 源 内 訳	国庫支出金							
	府支出金							
	分担金・負担金							
	使用料・手数料							
	起債							
	その他の特財							
一般財源	1,511	1,293	1,282	1,332	1,332			
人 件 費	一般職員所要人員(人)(B)	0.40	0.40	0.40	0.20	0.20		
	一般職員人件費(平均給与×(B))(千円)(C)	2,218	2,356	2,356	1,178	1,178		
総コスト費(千円)(A+C)	3,729	3,649	3,638	2,510	2,510			
人口あたりコスト(円)	615	602	600	414	414			
(2)成果指標等								
番号	指標区分	指標名称	単位	25 年度			26 年度 目標値	27 年度 目標値
				目標値	実績値	達成率(%)		
①	目標指標	利用人数(運動場)	人	10000	10445	104%	10500	10500
②	目標指標	利用人数(テニスコート)	人	2000	2000	100%	2400	2400
③	目標指標							

○目標指標評価値(達成率平均値) 204% / 2 = 102% (A)

(1/2)

Ⅲ 事務事業の評価<Check>

(1)成果の自己検証		
評価項目	評価結果	評価の理由及びその考え方
①妥当性 ※施策の目的が村の政策体系に貢献しているか	3 4. 大いに貢献している 3. 概ね貢献している 2. あまり貢献していない 1. 貢献していない	村内唯一の体育施設であり、村民スポーツ振興に寄与している。
②有効性 ※期待された効果が得られているか	3 4. 効果がある 3. 一応の効果がある 2. あまり効果がない 1. 効果がない	村内唯一の体育施設であり、村民スポーツ振興に寄与している。村内外から多くの利用がある。
③効率性 ※効率的に進められているか	3 4. 非常に効率は良い 3. 概ね効率は良い 2. あまり効率は良くない 1. 効率は良くない	各施設の利用率を上げる努力が必要であり、今後広域連携による利用率の向上を図る。
④公平性 ※受益や負担が公平になっているか	3 4. 公平である 3. 概ね公平である 2. 少し偏りがある 1. 公平ではない	利用者に相応の受益者負担を求めており公平である。

○事務事業評価値 (①～④の合計/16)	12	/16	75%	(B)
-------------------------	----	-----	-----	-----

(2)検証結果			
目標指標評価値 (A)	事務事業評価値 (B)	総合評価値 (A)+(B)/2	評価ランク(改善の目安)
102%	75%	89%	b
<small>a: 90%以上(現状維持又は拡充) d: 30~49%(休止・廃止又は縮小) b: 70~89%(見直し又は現状維持) e: 30%未満(休止・廃止) c: 50~69%(縮小又は見直し改善)</small>			

Ⅳ 事務事業改善の方向性<Action>

(1)改善の方向性	
①改善の方向性(自己評価)	← A:拡充 B:現状維持 C:見直し D:縮小 E:休止・廃止
B	
②改善の方向性の理由、改善する上での具体的な改善策や課題等	
村民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るため、引き続き実施する。	

Ⅴ 事務事業評価結果(担当者は記入しないでください。)

(1)政策担当結果	
村民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るため、引き続き実施する必要があると考える。また利用度の少ない野外活動センターについては、運用について検討して必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(2)第三者による有識者会議結果	
	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止

(3)行政経営戦略会議結果	
村民のスポーツ振興や青少年の健全育成を図るため、引き続き実施する必要があると考える。また利用度の少ない野外活動センターについては、運用について検討して必要があると考える。	B A: 拡充 B: 現状維持 C: 見直し D: 縮小 E: 休止・廃止